

感染予防の
ために、
できること。

小田原市のワクチンの
接種に関する最新情報



《今後のワクチン接種の考え方》

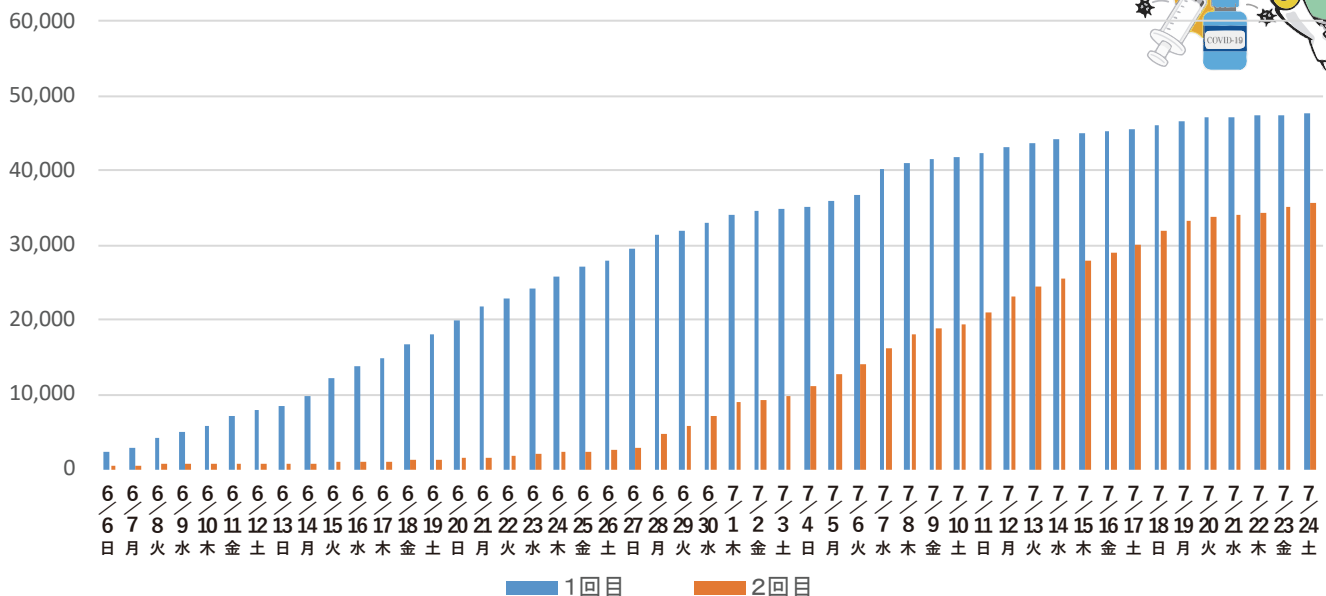
- ◆ **高齢者 7月接種概ね完了。** 7月上旬に高齢者の接種を勧奨する広報を行ったが、予約や相談の状況から、早期接種を希望する高齢者については、概ね接種が終了したと考える（高齢者の80%以上が接種済）
- ◆ 高齢者に続き、基礎疾患のある方、60歳から64歳までの方への接種を実施中
- ◆ 介護サービス事業所・障がい者施設関係者、教職員、保育士、幼稚園教諭へも優先接種を拡大
- ◆ 12歳以上のすべての市民に接種券を発送済み
- ◆ 市立病院の土日接種や民間医療機関の接種体制の拡充等により、週18000回の接種が可能となるも、国からのワクチン供給量は2週間で13000~15000回程程度の状況（7月下旬時点）
- ◆ このため、12歳から59歳までは、9月以降開始の見込み（今後のワクチンの供給量に応じて接種を開始）

小田原市のワクチン接種計画

※日本政府よりワクチンが希望の数量が届いた場合の計画です。

対 象	対象者数	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月～
医療従事者	7,800	→				完		
高齢者施設（入所者・従事者）	5,000		→		完			
高齢者（65歳以上）	53,800			7/26 現在 約 8割 済		→	完	
基礎疾患を有する方	4,000					→		完
介護サービス事業者・障がい者施設の従事者、小・中学校教職員、保育士、幼稚園教諭	5,500					→		完
60～64歳	11,500					→		完
12歳～59歳	105,686							→

ワクチン接種数



記載している情報は、7月26日時点のものです。どんどん情報は更新されます。ご了承ください。

小田原市長

守屋てるひこ便り



号外



最新情報をお送ります！
お友だち登録をお願いします (^_^)

「小田原市の土砂災害について」

小田原市内の盛土の安全性を 81ヶ所全てチェック完了！

7月3日に熱海市や県内で大規模な土砂災害が発生しました。お亡くなりになられた方に心からお悔やみ申し上げます。また、被災された方に、心からお見舞い申し上げます。

発災直後に、盛土高さ 5メートル以上などの大規模盛土造成地 35ヶ所について緊急点検を実施し、経年劣化による変化がないことを確認しました。さらに、土砂条例により許可を受けた土地のうち、盛土の高さ 2メートル以上の 46ヶ所についても緊急点検したところ、特に変化は見られませんでしたので少しホッとしました。そして、開発許可・宅地造成許可による造成地概ね 200ヶ所の点検も実施しています。皆様の周りで造成地に異変を感じましたら、是非ご連絡くださいますようお願いいたします。

今回の土砂災害で様々な教訓を得ました。今後も、様々な災害リスクに対して、市民の命を守ることを最優先に災害対策を進めて参ります。



小田原市内の盛土関連での点検完了箇所

大規模盛土（高さ 5m 以上）・35ヶ所緊急点検（第 1 弾）
土砂条例（高さ 2m 以上）・・・46ヶ所緊急点検（第 2 弾）
開発・宅地造成・概ね 200ヶ所緊急点検実施中（第 3 弾）

酒匂川河川敷スポーツ広場の応急復旧作業「こどもたちの大会を守れ！」



7月3日の大雨によって利用ができなくなった酒匂川河川敷スポーツ広場。スポーツ関係団体の方々や多くの関係者の皆様のご協力と守屋市長の「夏の大会に絶対に間に合わせる！」という大号令で、スピード感を持って対応し、早い時期での復旧と利用開始ができました。

7月23日からの県少年ソフトボール大会も無事に開催でき、グラウンドの復旧を心待ちにしていたこどもたちの笑顔を見る事ができとてもうれしく思いました。



moriya-teruhiko.com

守屋てるひこ後援会 連絡先

〒250-0042 小田原市荻窪 317-1

イセトヨビル 2階



0465-43-9918



0465-43-9917



info@moriya-teruhiko.com